

ページ・行	誤	正
p. 276 図-5.5.22	図-5.5.22 ワイヤロープ掛工の例 (単位: mm)	図-5.5.22 ワイヤロープ掛工の例 (単位: mm) ²⁾
p. 276 図-5.5.23	図-5.5.23 ロックボルト工の施工例	図-5.5.23 ロックボルト工の施工例 ²⁾
p. 285 11行目	平成16年2月の…	平成15年7月の…
p. 336 4行目	…では、0.98 MPa/cm ³ 以上、I-1、I-2交通では1.5 MPa/cm ³ 以上となる…	…では、0.98 MPa/cm ³ 以上、I-1、I-2交通では1.5 MPa/cm ³ 以上となる…
p. 336 下1行目	…係数を、 $K_{30}=2.0 \text{ MPa/cm}^3$ としたい。	…係数を、 $K_{30}=2.0 \text{ MPa/cm}^3$ としたい。
p. 337 1行目	路床の設計地盤係数 $=0.95 - \frac{1.21-0.66}{2.67} \doteq 0.74$	路床の設計地盤係数 $=$ 各地点の支持力係数の平均 $-\frac{\text{支持力係数の最大値}-\text{最小値}}{C}$ $=0.95 - \frac{1.21-0.66}{2.67} \doteq 0.74$ ここに、 C は表-6.7.5に示す係数である。 表-6.7.5 係数 C の値
p. 337 5行目	これより、設計厚はそれぞれ55 cm, 30 cmとする。	これより、求められた路盤厚を5 cm毎に切り上げ、設計厚はそれぞれ55 cm, 30 cmとする。

箇所	3	4	5	6	7	8	9	10以上
C	1.91	2.24	2.48	2.67	2.83	2.96	3.08	3.18

ページ・行	誤	正
p. 337 6行目	…区分から $K_{30} = 2.0 \text{ MPa/cm}^3$ である。	…区分から $K_{30} = 2.0 \text{ MPa/cm}$ である。
p. 337 7行目	…すれば、 K_{30} を 2.0 MPa/cm^3 とするためには…	…すれば、 K_{30} を 2.0 MPa/cm とするためには…
p. 337 下5行目	…区分から $K_{30} = 2.0 \text{ MPa/cm}^3$ である。	…区分から $K_{30} = 2.0 \text{ MPa/cm}$ である。